

日立市の安全・安心を守るため



楽しく分かりやすい交通教室などを開催している「交通指導員」。市民を犯罪から守るため、毎日市内でパトロールを行っている「防犯サポーター」。どちらも市の非常勤職員で、日立市の安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、日々活動しています。今号では、交通指導員と防犯サポーターについてご紹介します。

問合せ 生活安全課 内線 520

交

通指導員は、幼稚園、保育園、小学校、高齢者対象の交通教室のほか、自転車教室や下校の見守り活動などを5人で行っています。

交通指導員の佐川さんは、交通教室が親子で交通安全について考えるきっかけになってほしいと話します。「何もない中で交通安全といっても、『車に気を付けなさい』と教えることくらいしかできないと思います。教室をきっかけに、親子や先生の間で共通理解ができたらいいですね」

交通教室で使う紙芝居やパネルシアターは、ほぼ交通指導員の手作り。幼稚園の先生が驚くほどクオリティが高い仕上がりに。「私たちは、交通安全について楽しく学んでもらいながら、ルールやマナーを守り、『自分の身は自分で守る』という意識付けができればいいと思っています。小さい頃教わったルールが頭の片隅にあるだけでも違います。高齢の方も私たちより年上なので、偉そうな



ことは言えませんが、交通指導員が笑顔で『気を付けてね』と言っていたことを思い出してくれたら嬉しいです」

交通教室に参加した人たちは、帰り道で横断歩道の前に立つと、ピタッと止まることを思い出してほしい。「どんなときでも、ピタッと止まることを大事にしています。手をあげることも、まずは必ず横断歩道の前でピタッと止まることを、子どもたちにも高齢の方たちにも、声を出して覚えてもらいます。『止まる、見る、聞く、待つ』が基本です」



交通指導員
佐川幸江さん

交通指導員8年目。交通教室の後に子どもや高齢の方が「楽しかったよ。また来てね」と笑い掛けてくれたときに、やりがいを感じます。



その他の主な交通指導員の活動

● 高齢者在家訪問

月に1、2回、70歳以上の高齢者のお宅を訪問。交通安全の啓発チラシや反射材を1軒ずつお話ししながら渡します。1日に約300世帯を市と警察、協力団体で10班に分かれ回ります。

事故が多いのは、午後4時から8時までの一番見えにくい時間帯。事故に遭うのも高齢の方が多いです。夜間に外出する際には、反射材を着けましょう。

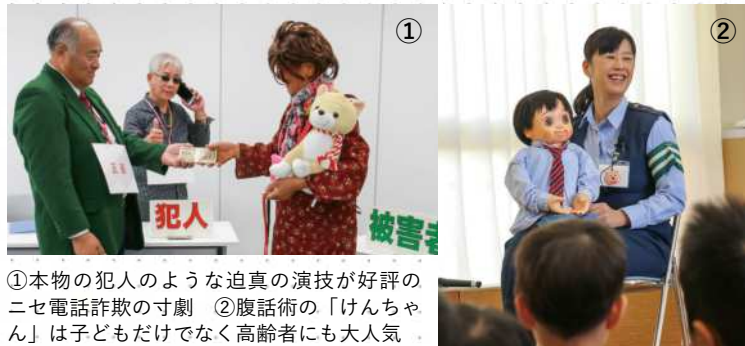
交通指導員 荒巻美奈子さん



楽しく分かりやすい啓発活動

防犯サポーターは学校などから要望があると、不審者役やニセ電話詐欺の犯人役・被害者役などになりきり、楽しい寸劇で実例を教えてください。

また、交通指導員も負けずに、幼稚園・保育園での交通教室の腹話術「けんちゃん」が大人気。交通指導員が独学で学んだ腹話術で、交通安全について分かりやすく説明します。



①本物の犯人のような迫真の演技が好評のニセ電話詐欺の寸劇 ②腹話術の「けんちゃん」は子どもだけでなく高齢者にも大人気



▲ 交通指導員の皆さん

▼ 防犯サポーターの皆さん



防

防犯サポーターは、5人のうち4人が警察OB。防犯のプロがそろっています。

青色の回転灯が付いた、青色防犯パトロール車（通称「青パト」）を使用するには、警察の本部長の許可が必要です。市役所には3台の青パトがあり、許可を受けた5人の防犯サポーターが南北に分かれ、子どもたちがいる学校などを重点に、市内全域を毎日隅々までパトロールします。「各コミュニティにも青パトがあり、ボランティアで各地域のパトロールをさせていただいています。我々は職員で、市内全域をパトロールできるので、しっかりとやらないと申し訳ない」



防犯サポーター
鈴木敏広さん

元警察官で防犯サポーター7年目。青パトも認知され、パトロールを

していると、下校時の児童が手を振ったり敬礼したりしてくれるのが嬉しいです。



防犯リーダー講習会などに参加したりして情報交換をしながら連携しています」

秋の台風の際は市内を回り、危険箇所を見つけ報告しました。毎日市内をパトロールしているの、自然と地理に詳しくなります。「警察ではないので職務質問はできません。パトロール中は、困っているようだったり、認知症と思われる方を見つけると、声を掛けています」

パトロールは、犯罪抑止のためと鈴木さんは言います。「警察がパトロールできない細かいところも、青パトは毎日回ります。犯罪を犯そうとしている人は、人の目があることを一番嫌がります。地域の目が行き届いている場所は、犯罪が起きにくくなります」

その他の主な防犯サポーターの活動

● 不審者対応避難訓練（幼稚園、小学校、児童クラブなど）

110番に通報する訓練、怪しい人に声を掛けられた際の対応など、実際に遭遇した場合を想定し、具体的な方法を子どもたちに教えます。

熱心な先生が不審者役の防犯サポーターを本気で攻撃し、転倒させてしまったこともありました。それだけ先生も子どもたちを守ろうと真剣に取り組んでいます。



青色防犯パトロール車



防犯サポーター 根本 昇さん